

平成 26 年度（2014 年度）第 1 回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成 26 年 5 月 18 日（日）午前 10 時～12 時

場所：池田市立中央公民館 3 階会議室

出席者：（委員）石田会長、岡村副会長、牛嶋委員、尾上委員、彭委員、丸山委員、
上垣委員、岡部委員、奥波羅委員 欠席：山田委員
（事務局）加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員 4 名

傍聴者：なし

- 議題
1. 図書コーナーの利用状況について
 2. 平成 26 年度図書館運営について
 3. 図書コーナーの見学
 4. その他

- 配布資料
- ・ 図書コーナーの利用統計
 - ・ 図書コーナー配架図
 - ・ 移動図書館ステーションの巡回日程の変更について
 - ・ 平成 26 年度事業計画

〈館長挨拶〉

会 長 議題の 1 番目、図書コーナーの利用状況について、事務局より報告をお願いします。

事務局 中央公民館に図書コーナーが 4 月 1 日にオープン。広さ 87,58 m²、任期付職員 5 名とアルバイト 2 名の合計 7 名の職員で運営。

開館時間 平日 10 時～午後 8 時まで、日曜日、祝日午後 5 時まで。

休館日 毎月第 1 火曜日と年末年始のみ。

4 月は、4 月 1 日が第 1 火曜日で中央公民館のオープン初日で開館 30 日間開館。

利用状況は登録がかなりあった。新たな利用者が多かった。

地域的には、栄本町、城南、大和町など池小校区の方が多く、線路を越えて満寿美町、宇保、神田の方が利用。

年齢的には、60 歳以上の高齢の方が約 4 割を占めており、40 歳代の方、小学生以下の子どもさんの利用が多かった。

利用者の声としては、「ここにできて利用しやすくなった」という声が多く聞かれた。

一方では「狭い」「雑誌が少ない」という声も若干あった。

会 長 質問はございますか。

- 委員 本館には1日平均してどれくらいの利用者がいますか。
- 事務局 本館の利用者数は、平日で600人から700人ぐらい。
- 委員 石橋プラザは、どれくらいですか。
- 事務局 400人ぐらい。土、日で500人、多い時で600人。市民サービスコーナーもあるので平均400人が利用。
- 委員 図書コーナーはスタートしたばかり、あまり知られていない。
- 事務局 でもスタートとしてはまずまずではないかと思っています。
- 会長 他にご質問はございませんか。今後、利用者の年代、居住地の人がたくさん利用するのかという資料を、また機会があったら報告してください。
- 委員 多い曜日というのは傾向があるのですか。
- 事務局 土曜日がちょっと多い。あと火曜日が本館の休みということもあるのか、多いようです。
- 会長 それでは2番目の「平成26年度図書館運営について」をご説明をお願いします。
- 事務局 ① 「図書コーナー」を4月1日に開設。
- ② 「移動図書館運行日程の変更」を効率的な運用のために見直し、6月から変更。現行「週3日」⇒「週2日」、1日「3箇所」⇒「4箇所」に変更する。今まで18箇所⇒16箇所とし、「ハローワーク前」と「東山公園」の2箇所を廃止。「ハローワーク前」は、近いので図書コーナーを利用していただき、「東山公園」は「細河小学校」、「人権文化交流センター」など比較的近くに行くためのステーションがあるということで廃止。広報、館内掲示、ホームページ等で事前にお知らせし、廃止のステーションの方にはちらし等でお知らせし周知を図る。変更後、移動時間が車の渋滞に巻き込まれると時間どおりに行けないステーションがあったり、最終の4箇所目のステーションが冬場だと暗くなるので、運行が難しいのではとの意見もあり、冬場になる前に見直しが必要になるかもしれません。
- ③ 蔵書点検のための臨時休館を予定。本館は6月23日から27日までの5日間、石橋プラザは23日から25日までの3日間。今回は、年末年始の図書館システムの入替え時に、蔵書点検を1度行っており、1階と2階、プラザの部分的な部分に留めて休館期間を縮小。図書コーナーは規則上、図書整理日を設けず、休館をしないで日曜日の5時での終了後、蔵書点検を行う。駅前サービスポイントは平常どおり。期間も短く、図書コーナーも開いておりますので、例年は、図書整理日の少し前から貸出冊数を十冊にしておりましたが、今回は8冊のままとし、貸出日数を調整します。この件についても、館内掲示や広報にも載せております。
- ④ 1階にエアコンの設置を予定。公民館の建て替え前の比較的新しいエアコン4台を移設するもの。昨年、2階に個別のエアコンを3台設置し、残り1台を1階カウンターの後設置予定。事務局予算による執行で、夏までに設置できればと考えております。全館空調の効きが悪い所があり、個別の機器で補って

おります。

⑤ 公募委員の募集です。今年度は、2年に1度の協議会委員の改選の年になり、秋には公募委員の募集を行います。現在、公募委員を募集するための選定委員会を設けるのに必要な規則を作成中。

⑥ 最後に、行事的なことと言いますと今年度決まっている分では、本館が5月25日に城跡公園に、公用車（BMは入れない）で本を持ち込んで、本の貸出、返却と「ミニおはなし会」を予定。7月27日には本館の方で「ビブリオトーク」を行う予定。

プラザの方は、6月に「パパ&キッズ☆おはなし会」という新しい企画をします。図書コーナーが6月9日に「音読会」を予定しています。これは、昨年度、プラザで行っていたものを図書コーナーで行う形になります。

会 長 今年度の行事予定を報告していただきましたが、1番目の図書コーナーについては、いいですね。2番目の移動図書館の日程変更について何かありましたらお願いします。

6月といえば来月からこういう形でやっていくということですね。いろいろ課題等もおっしゃっていただきましたが、課題が表立って現れた時は、軌道修正というのは行われるのですか。

事務局 必要になると思うのですが、始まってすぐというわけにはいきませんので。

会 長 とくに夏場の日没と冬場の日没との時間的なものがかかなり影響しますね。

事務局 4箇所とするもので、最後のところが5時近くになる。かなり暗くなりますので難しいのではという声があります。

会 長 1日分減らした分を凝縮したという印象がある。

事務局 ステーションごと開設時間は変更していないので、時間を短くしたり、スタートを早くするなどの変更をする必要があるかもしれない。

委 員 変更についての広報的なものはどうか。

事務局 市の広報誌と館内掲示とちらしも配布しています。

委 員 ステーションに日程等についての掲示はないのか。

事務局 各代表の方、マンションの管理人さん、自治会の会長さんに日程表を配布しているが、各ステーションに掲示をするには至っていない。

委 員 公園などのステーションでは、幼稚園バスの集合場所のように日程などの掲示があれば、わかりやすいと思うが。特に曜日が変わったステーションには必要ではないか。

会 長 設置の要望という形でお聞きとりください。横とのつながりが大事だと思いましたが、今年はできないのか。

事務局 今年はやらない。

委 員 渋滞とかで遅ければ、時間どおり滞在しているのか。

事務局 終了は時間どおりに終わるので、滞在時間は短くなる。

委 員 滞在時間は、利用者の数に比例しているのか。

事務局 そうです。少ないところでも最低30分は滞在するようにしています。

会 長 つぎに3番目の蔵書点検のための臨時休館についてを報告ください。

委 員 図書コーナー開設後のサービスポイントの利用はどうか。

事務局 減ってきています。サービスポイントは今年度で終了することが決まっています。

委 員 経費が結構かかっているんですね。

委 員 図書コーナーの新刊本はこれから増えていくのか。読んだ本が多いように思う。

事務局 大量には無理だが、定期的に増やしていきたい。開設にあたり、新刊書を2,000冊、本館とプラザから比較的新しい本を8,000冊もってきております。

会 長 4番目の本館の空調について。

事務局 1階のカウンターの後に、新聞コーナーのところに風をまわせるように設置します。

会 長 2階はどうですか。

事務局 去年入れましたが全然ちがいます。2階は特に暑かったので、すごしやすくなりました。

会 長 5番目の公募委員の募集について、今年は改選ということになりますので。今は選定委員会の準備の段階ですか。

事務局 選定委員会の規則が必要ですので、今月の教育委員会の定例会に諮る準備を進めております。その後、選定委員会を設けることとなります。また会長にもご協力をお願いします。

会 長 6番目のその他行事について

資料にあるのは、城跡公園での「としょかんがやってくるよ」というもの、あとは口頭をお願いします。

委 員 図書館が出てきてくれるというのはすごく楽しみです。

事務局 初めての取り組みで、単独での催しなので、どれくらい集まってくれるか。本当は移動図書館で行くことができればよかったです。公園に入れませんが公用車でということになりました。

委 員 城跡公園に「薪能」のポスターが貼ってあったんですがそういうことも検討ください。

委 員 本の貸出しをするということですが、どういう手順でやられるのか。

事務局 移動図書館の機具を持って行って行きます。ただ、返却はできませんので、本館などにもって行ってもらうようお願いします。

委 員 大型絵本とか読み聞かせをされるんですね。

委 員 そのお知らせは広報とかに載るんですか。

事務局 館内掲示とホームページとチラシを配ったり、図書コーナーなどに置いております。対象を就学前の子どもにしているので、公立保育所、幼稚園には配布をお願いしています。

委 員 図書コーナーの読み聞かせは、職員がするのですか。

事務局 職員がおこないます。場所は会議室をお借りして行きます。場所を定期的に借りられないので不定期となっています。図書コーナーの前は通路なのでできません

ん。

委員 時期とかはこれからですか？

事務局 広報などでお知らせします。

委員 土日とか、平日の午後とか。

委員 事業計画の関連で、例の「丘の上の図書館の提言」ですね、あれを受けて平成22年から28年の7年間、もう残すところ26、27、28の3年間のなかで、事業計画に取り入れているもの、そうじゃないものもあるように思いますので、そういうところはどういう形で課題を解消していくのか。先般の指定管理者導入について、提言が3つございました。1つは、池田市の第6次の総合計画に対して、図書館の姿が見えないのでビジョンを強く訴えていく、あるいは民間の力、市民の力を活用していくという提言した。そういうものについて、事業計画で今年度はどういう扱いで取り組んでいくのか。どのように考えているのか。

会長 大事なお指摘だと思います。この事業計画等は事務局をはじめ図書館の方で検討頂いた。今、どのような動きになっているのか？ご指摘のあった件に対して、1つでも2つでも提言内容が実現できることが望ましいと思うが。

事務局 今まで、図書館は本の貸出しを中心にやってきたんですが、市民が参加し、図書館を拠点に、市民が寛げる場を作りたいという思いから、まずイベントを通して図書館に足を運んでもらい、図書館で何かをやらせてもらって、いろいろ交流を図りながら市民の自主的な活動を図書館も協力しながらやっていく市民参加型のイベントをやっていこうと、昨年から取り組んでいます。高齢者の方に集まっていた音読会を開催したり、今年は、お父さんの育児支援をしようという交流の場をつくり市民同士のつながりつくっていきたいと思っています。

館長 前館長との引継ぎの中にもありましたが、「PRするには外へ出て行く」という意味からも今回はじめての城跡公園でのイベントを企画しております。それと地域の方々とのつながりも大事じゃないかといくことで、例えば五月丘の協議会の方とかで「おはなし会」をするとか、また、学校との連携も進めて行かなければならないというようなことの申し送りを受けておりますので、今後、図書館をどのようにPRするのか、分かって頂くかという事が大きな課題と考えております。

会長 おふたりからお話を頂きましたが、提言が26、27、28年の3ヵ年ですので、例えば「提言実現のための3ヵ年計画」あるいは「26年度重点目標・内容」というよくわかる形でまとめていただき、提出していただくと皆さんにもわかりやすいんじゃないかと、「こういう努力を図書館はしていますよ」というふうに、目に見える形というのが大事だと思いますので、検討願えますか。今、口頭で回答を頂戴しましたが、そういうことも大事だと思う。よろしくお願ひしたいと思います。

今年の事業計画を出していただきましたが、事業計画に対して何か質問・意見がありましたら。

委員 事業計画1から5と書いて頂いていますが、計画の中の категорияがどういうことを意図したものかということが事業計画に見えてくると、図書館としてこういう方法で事業を考えているというのが市民の方にもわかり易くなるんじゃない

かなと思う。

委員 進捗状況、具体的なことでは過去に話題となりました返却ポストの問題、それから学校図書館、学校との連携の問題とかも課題となっているし、今年からユニバーサルデザインを取り入れた施設の整備がスタートしていると思う。そのへんがどのようになっているのか。

委員 たしか、図書コーナーは「ヤングアダルト」に傾向したと思うが今年度は何か……。事務局 学校となにか連携したことができないかお声がけをしている。今年度中に何かコラボしたものが出来ればと思っています。

会長 今日、用意して頂いた資料をもうすこし説明していただけますか。「ヤングアダルト」等、何部か資料をもらっていますが。

事務局 図書館には、小学生ぐらいまではたくさん来ますが、中高生、大学生になっていくにつれて、自習だけで来る傾向が強く、本来の図書館の利用というのが見られなかったのので、図書コーナーは駅からも近いので、若い層をターゲットにしてサービスできないかと。まず、読書推進になるようにとジャンル分けしたブックリストを出して、いろんなことを考える時期にある中高生・大学生に役立つように出しております。あまり本を読まないという人には、「こういう本はどうですか」ということで「初めて出会うYA」、就職や将来のことについて考えましようというものや、自分の悩みごとについて支援になるような資料など置いていき、中高生が足を運んでくれるような場所になるようにと考えています。

委員 子どもの学校の夏休みの宿題とかに、「本を読んで感想文を書け」というのがあったのですが、本の選び方が判らなくて、学校との連携ということがありましたが、学校からどういう宿題が出ているのか調べていただいて、本を選んで頂ければ助かると思います。

事務局 以前、個別で図書館に同じような質問が続いたことがあり、尋ねたところ学校の宿題と判ったことがありました。事前に判っていれば資料を取り揃えて準備ができるし、知らないでいると個別に貸し出してしまい、後の利用者が調べに来たら資料がないということがあった。関係資料をならべて、貸出しはできないので館内で調べていただくような対応ができる。

事務局 事前に判っていれば「貸出ししない資料」にできるし、こういう資料はどうですかと薦めていけるし、子どもたちが将来、自分で調べていけるようになると思います。

委員 子どもたちは、すぐに答えを求めたがるが、その過程が大事だと思う。調べていくうちに図書館のおもしろさが判っていくと思います。

委員 「本の帯」をつくるというのがあって、その中から学校で「本の帯大賞」を決めるのがあったが、さらに公民館での展示などあればいいと思う。

委員 司書との連携がうまくいっている時は、授業単元の前の団体貸出しでそれに関わる資料を集める形は大分出来てきていると思うが、ただ全部の学年にできていないのが現状で、なかなか難しい。校内ではカリキュラムができているので、また話をしていきたいと思う。

委員 先生たちが図書館に足を運ばれて、自分が読んでよかったものを子どもに薦める。こういう本が図書館にあったと自分の本との出会いを子どもたちに伝えていくことで子どもたちにも動きがあると思う。

委員 細中校区で小中一環校ということで、小学校 2 校、中学校 1 校で図書室の蔵書数の一貫化する動きが出ています。それが全中学校区で行われる形で、教育センターが中心でソフトを作って、その延長線上に市の図書館との連携をお願いしたいと思っています。なぜ、そういうものが必要かと言うと 1 つのテーマに学校図書館では不十分なことがあります。学校によって音楽関係の図書を多く持っているところやあれば体育関係、理科関係を多くもっている学校があったりしています。学校間での連携を進めていき、市の図書館と連携していくと資料を子どもたちがコンピューターを使って自分で探していくことを現在模索しております。

委員長 ありがとうございます。まさに連携が大事だということですね。他に質問、意見がなければ、委員会を終了し、この後、図書コーナーを見学したいと思います。